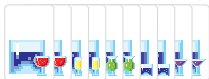
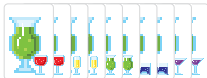


一年一度のカクテルコンペティション、それは本来バーテンダー達が新しいレシピを教え合い、他者を観察しながら、お互いを高め合う大会でした。しかしある年、主催側は最高なバーテンダーを選び出し、そして表彰すると決めてから、全てが変わりました。コンペティションで勝利を勝ち得るために、バーテンダーたちは探り合い、他のバーテンダー達と「乾杯」する間に、会話する間に、こっそりいらない酒を相手のシェーカーに入れて、策を弄して、相手を蹴落そうとする.....。

内容物

素材カード 50 枚 (大きいイラストは素材本体、ミニイラストは乾杯できる素材を示しています)



裏面

レシピ素材のミニ札 60 枚



裏面

チーム分けのカード 12 枚

(拡張ルールマスカレードで使用)



裏面

レシピカード 15 枚



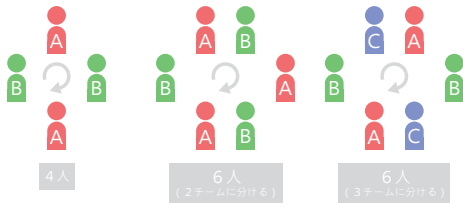
裏面

レシピ台 6 セット



席順を決める

プレイヤー達がチーム分けをした後、図にある席順に座ることで、各チームのプレイヤーは順番通りに動くことができます。



《乾杯 CHEERS》の初心者プレイヤーでしたら、4か6人のチームプレイからゲームを始めることをおすすめします。もし2人、3人また5人でゲームを進めたい場合、まずは説明書を読み、基本ルールを理解した上で、裏にある【拡張ルール】にある奇数プレイルールか二人対戦の部分を読んでください。

ゲームの目的

チームメイトと協力し、相手よりも早く秘密のレシピに描いてある必要な素材をシェーカーの中に揃いましょう！

秘密のレシピ

各チームから代表を一人選び、秘密のレシピを引いてもらいます。

初めてのゲームでしたら、各チームの代表に秘密のレシピを1セットを引いてもらい、自分と仲間に分けてもらいます。もしゲームルールに慣れたら、以下の手順に従い、レシピ素材のミニ札を使い、新しい秘密のレシピを作りましょう：

▶ プレイヤー達は先に10枚のレシピ素材のミニ札（5種類から2枚ずつ）とレシピ台を1つ取ります。

▶ チーム代表は自分の持つレシピ素材のミニ札をA、Bグループに分けます、Aグループは2種類、Bグループは3種類、例えば：



（例の図と同じである必要はない、Aグループに2種類の素材、Bグループに3種類の素材があれば大丈夫）

- ▶ 分け終われば、両グループの札を裏返して、それぞれシャッフルします、そしてAグループから3枚、Bグループから2枚を引き、全部で5枚のレシピ素材のミニ札を引きます。この5枚が自分のチームの秘密のレシピになります、レシピ台に置いてください。
- ▶ 最後は各チームの代表が手伝い、仲間の持つ素材のミニ札の中から、自分の引いた5枚の素材を選び出して、仲間のレシピ台に置き、残ったミニ札は全て箱の中に戻してください。

注意事項

- ▶ 秘密のレシピを引く時、相手に自分の札を見せないでください、また相手の秘密のレシピを覗かないでください。
- ▶ 自分の秘密のレシピは仲間と同じなのか、確認してください。

ヒント

秘密のレシピに使われる素材は3～4種類だけ、各素材の分量は最大2コップを越えません。このヒントを生かし、札を出す策を考えてみましょう。

セットアップ

素材カードをシャッフルして、各プレイヤーに3枚ずつ配り、手札とします。他のカードは表を下向き、テーブルの中央に置き、山札にします。プレイヤー達は自分の前のスペースを開けて、自分のシェーカーの中身にします。以下の図のように：



素材カード

- ▶ 素材カードの大きいイラストは素材本体、プレイヤーが集めるべきお酒です；ミニイラストは乾杯できる素材を示しています。
- ▶ プレイヤー自身の、もしくは仲間のシェーカーに、秘密のレシピと同じ種類と分量の素材を揃えた時、勝利となります。

シェーカー

シェーカーの容量は6、つまり最大6つの素材まで入れられます。もしシェーカーの中に七つ目の素材カードが現れたとき、そのターンがシェーカーの持ち主のターンではなくとも、その持ち主は一つの素材を選び、破棄しなければなりません。

ゲームの進行

スタートは最近お酒やスパークリングドリンクを飲んだプレイヤーから始めます、ジャンケンで決めても大丈夫です、時計回りでターンを実行します。プレイヤーは以下の動きから一つを選び、実行できます：

▶ 酒を勧める
(一枚を出す)

▶ 酒を贈る
(一枚を動かす)

▶ 返品
(手札を引き直す)

▶ 酒を勧める (一枚を出す)

手札から一枚を選び、指定プレイヤー (自分含め) のシェーカーの中に入れ、そして山札から一枚を引き、手札に加える。もし「乾杯」の条件に満たした場合、指定プレイヤーはすぐにカードを配る必要があります。

乾杯の条件を満たす方法は？

もしあなたが勧めた酒の素材カードのミニイラストが、指定プレイヤーのシェーカーの中にある素材カードの大きいイラストが同じであれば、乾杯の条件を満たします、その時大声で「乾杯」と言い、プレイヤーにカードを配ることを教えます。



手札

乾杯！



シェーカーの中のカード

乾杯した後のカードの配り方は？

- ▶ 指定プレイヤーが乾杯の条件を満たした2枚のカードを2人のプレイヤーに配ります (誰に配るかは指定プレイヤーが決めます、ただしライブルを1人選ぶ必要があります)。
- ▶ もし指定プレイヤーのシェーカーに乾杯の条件を満たしたカードが複数枚ある場合、乾杯に使うカードは指定プレイヤーが決めます。

注意事項

乾杯した際、配る素材カードのミニイラストは効果を失うので、そのターンでは二度目の乾杯が行われません。

▶酒を贈る（一枚を動かす）

自分のシェーカーから素材カードを一枚動かし、他プレイヤーのシェーカーの中に入れます。酒を贈ることで乾杯の条件は満たせません。

▶返品（手札を引き直す）

全ての手札を伏せた状態で捨て、新たに山札から3枚を引き、手札とします。

勝利を告げる

あなた達のターンではなくとも、あなたや仲間のシェーカーの中に、秘密のレシピが必要とする素材が揃えば、あなた達は秘密のレシピを公開して、勝利を告げることができます。でも気をつけてください、必要な素材は数が増えても大丈夫ですが、秘密のレシピにない素材が混じったら、優勝することはできません！以下の図を参考してください：

OK



NG



注
意

素材カードの大きいイラストが素材本体です、ミニイラストを集めても勝利にはなりません。そしてゲームの進行中、もしシェーカーの中の素材カードが6舞を越えることで破棄しなければならない時、または乾杯が行われた時も、プレイヤーはまずこれらのイベントを終らせてから、勝利を告げられるかを判断します。

引き分け

6人ゲームの場合、時には山札を全て引いてしまうことが起こります、もしそうなったら、そのゲームは引き分けとします、もうゲームを始め、新しいコンディションを行きましょう！

拡張ルール

このゲームには四つの拡張ルールがあります、拡張ルールは少し複雑なので、まずは基本ルールを慣れてから、拡張ルールを使うことをオススメします・これから各拡張ルールと基本ルールの違う部分を説明します、言及されない部分は基本ルールと同じです・

師と弟子以心伝心

チームの代表が師となり、チームメイトが弟子となります、師が秘密のレシピを引いた後、弟子には見せません、口で教える事もしません・なので、弟子は秘密のレシピを知らないまま、師の行動を見て（酒の勤め方、贈り方、乾杯の時カードの配り方を観察する）、師を勝利へと導きます・誰のターンであっても、師か弟子のどちらかのシェーカーの中に、秘密のレシピに使う素材が揃えば、師はすぐに勝利を告げることができます・

マスカレード（仮面舞踏会）

マスカレードはチーム分けの方法を変えたので、プレイヤーは最初に自分のチームメイトが誰なのかわかりません、探り合いと他のプレイヤーを観察することで、策を講じるしかありません・6人プレイの場合はチーム数によって、2～3セットのレシピカードをシャッフルしてください、全員が1枚を引いたら、セットアップに移ります・4人プレイでしたら、秘密のレシピカードを引く他にも、以下の方法を参考にして、レシピのバリエーションを増やせます：

- ▶ 2種類のチーム分けのカードを1枚ずつ取り出して、表を上にしてテーブルの中央に置きます。
- ▶ レシピ素材のミニカードを5種類から2枚ずつ取り、同じ種類のカードを重ねたままシャッフルします、中から2セットをAグループにし、3セットをBグループとします。そして、Aグループから3枚、Bグループから2枚を引き、裏返したままチーム分けのカードの隣に置きます。同じ方法でもう一組の秘密のレシピも作ります、完成した時は図のようになります：（プレイヤー達は確認することができません）



- ▶ テーブルにあるのと同じ種類のチーム分けのカードを2枚ずつ取り出して、それを裏返したままシャッフルした後、全員に配ります。プレイヤーたちは10枚のレシピ素材のミニカード（5種類から2枚ずつ）とレシピ台を1つ取ります。
- ▶ スタートプレイヤーを選んだら、全員が目を閉じ、スタートプレイヤーが最初に目を開けて、自分のチームの秘密のレシピを確認します、手元にあるレシピ素材のミニカードを使い、自分のレシピ台に秘密のレシピ通りのカードを並び、残ったミニカードは裏返った状態で置きます。行動が終わったら、テーブルの様子を元に戻して、左のプレイヤーの肩を叩き（または名前を呼び）、目を開けてもらい、次に秘密のレシピを確認してもらいます、次々と順番を回して行きます。
- ▶ プレイヤーたちが全員自分の秘密のレシピを確認した後、テーブルをきれいにして、ゲームを始めます。

奇数拡張ルール

プレイヤー人数が奇数の時、以下のチーム人数の振り分け方と行動順番を参考にしてください：

3人（Aチーム1人、Bチーム2人）

A → B1 → A → B2 → ...

5人（Aチーム1人、B、Cチーム2人）

A → B1 → C1 → A → B2 → C2 → ...

5人（Aチーム2人、Bチーム3人）

A1 → B1 → A2 → B2 → A1 → B3 →
A2 → B1 → A1 → B2 → A2 → B3 → ...

この拡張ルールでは人数の少ないチームがありますので、人数の少ないチームの人は手札を4枚引きます、ターン実行時に返品（手札を引き直す）を選んだ時、4枚を引き直します。そして、そのチームにはもう一つのシェーカーがあります、誰でもそのシェーカーに対して、酒を勧めたり、酒を贈れます、乾杯された時、チームメイトと一緒にカードの配り方を決めます（ただし、もう一つのシェーカーの中の素材カードを使い、酒を贈ることはできません）。

二人対戦

二人対戦の時、プレイヤー自身のシェーカー以外にも、共用のシェーカーを一つテーブルに用意します、プレイヤー達は共用のシェーカーに酒を勧めたり、贈ることができます、もし共用のシェーカーが乾杯の条件を満たした / カードが6枚を越えた時、次ターンのプレイヤーが共用のシェーカーのカードを配ります / 一枚破棄します。もし自分の、または共用のシェーカーの中に、自分の秘密レシビの素材を揃った時、勝利を告げることができます。このルールでは僅かですが、同時に勝利条件を満たす可能性があります。もう一局始めるか、またはこの珍しい一時を祝いましょう！

△ 注意（必ずお読みください）

- ▼ 誤飲の危険性がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ▼ 高温多湿の場所に放置しないでください。変質のおそれがあります。
- ▼ 火に近づけないでください。変形、火災の原因になります。

制作チーム

ゲームデザイン：陳曦
グラフィックデザイン：陳彥旭（壹肆設計）
編集：楊偉睿、許格禎、鄭雅文
翻訳：英 / 鄭雅文 日 / 志雅
印刷：墨帥印刷有限公司
発行：玩聚設計有限公司

コンタクト

公式サイト：<https://pwud.ga/>
メール：contact@mail.pwud.ga

バージョン情報

2017年10月第2版発行